

2. 取組を進めるに当たり困難であった事例について

《非公表プログラムの事例》

D. 産業界、地域社会等多様な社会部門と連携した人材養成機能の強化

①国内外におけるインターンシップ・フィールドワークの充実

●事例 1

(具体的に何を実施し、何が困難であったのか)

当初海外フィールドワークとインターンシップを開拓する予定であったが、前者はうまくいったが、後者はうまくいかなかった。

(苦労したこと、困難であったことの詳細な要因は何だったのか、それにより実施内容がどのような影響を受けていたのか)

インターンシップを定着させるためには、同一派遣先へのある程度継続的な送り出しが必要であるが、量的にそれを確保することができず、相手先との合意に達しなかった。

(どのように対応し、どのような結果が得られたのか、また、その結果が望ましいものではなかった場合、あらかじめどのように対応していれば適切であったのか、どうすればより良い結果を導くことができたのか)

当該専攻の場合、院生の希望する行政や関係機関が多様であり、その個別性に応じたバックアップ体制を取ることは困難であり、院生自身がそのインターン先を自分で探すなどの措置を取るなどの可能性を追求すべきであった。